

I. 実証運行における取り組みについて

1. 実証運行における取り組み

平成28年2月 実証運行開始（1年目）

- ・北部循環バス：毎日運行 運賃 100 円/回 マイクロバス（28 人乗り）1 台
- ・南部循環バス：週 3 日運行 運賃 100 円/回 マイクロバス（28 人乗り）1 台
- ・山手路線A：週 3 日運行 運賃 200 円/回 セダン型車両（4 人乗り）1 台
- ・山手路線B：週 3 日運行 運賃 200 円/回 セダン型車両（4 人乗り）1 台
- ★平成 28 年 3 月 車内広告募集開始（H30.6 時点 3 社掲載）
- ★平成 28 年 4 月 桜まつり（臨時バス停設置）
- 平成 28 年 7 月 軽微な運行内容見直し
 - ・北部循環バス：バス停新設（3 箇所）
 - ・ダイヤ改正（運行時間の変更 8 時台～19 時台 → 7 時台～18 時台）
- 平成 28 年 9 月 利用者アンケート実施
- ★平成 28 年 10 月 愛称決定（循環バス→カナちゃんバス 山手路線→やまなみタクシー）

平成29年2月 実証運行継続（2年目）

- ・カナちゃんバス（北部）：変更なし（28 人乗り）1 台
- ・カナちゃんバス（南部）：週 3 日運行→毎日運行 ルート変更
 - 南部(A)：週 3 日運行、南部(B)：週 3 日運行、日曜便を統合し、カナちゃんバス(南部)：毎日運行に変更
- ・やまなみタクシー：運賃 200 円/回→運賃 100 円/回
- ・やまなみタクシー：ルート変更（南部(B)ルートの一部を統合）
- ・やまなみタクシー：便数の変更（1 日 10 便 → 1 日 8 便）
- ★平成 29 年 4 月 桜まつり（臨時バス停設置）、利用ガイドブック更新
- 平成 29 年 9 月 住民アンケート実施
- 平成 29 年 10 月 地区長とのヒアリング実施
- ★平成 29 年 12 月 10 枚綴り乗車券販売開始（平成 30 年 1 1 月末時点 320 冊販売）
- 平成 29 年 12 月 スーパー万代のバス停変更（店舗側に移設）

平成30年2月 実証運行継続（3年目）

- ★平成 30 年 2 月 サポーター制度導入（平成 30 年 1 1 月末時点 31 件交付）
- ★平成 30 年 3 月 バス停・停留所看板更新（90 箇所）
- ★平成 30 年 4 月 桜まつり（臨時バス停設置）
- 平成 30 年 7 月 やまなみタクシー利用者のニーズ調査
- 平成 30 年 9 月 オークワのバス停変更（店舗出入口側に移設）
- ★平成 30 年 1 1 月 道の駅かなんバス停利用者へのお買い物券車内配布

★印：主な利用促進の取り組み

2. 前回検討会議以降の取り組み

| | 取り組み | 内 容 | 備 考 |
|--------|------------------|--|--|
| H29.11 | 第2回 検討会議 | 需要喚起策 ・10枚綴り乗車券の発行 ・バス停・停留所の改善 ・商業施設とのタイアップ ・地区での支援組織づくりのサポート ・道の駅とのタイアップ ・免許返納者への特典 ・町主催イベント等との連携 ・金剛バス乗継利用者への料金割引 ・地域バスと連携した中心部の活性化 ・サポーター制度の導入 ・広告、協賛金制度 住民意向調査報告、評価の視点 | ・H29.12実施 ・H30.3実施 ・継続協議中 ・継続協議中 ・一部実施、継続協議中 ・実施を検討 ・継続して実施 ・継続協議中 ・町まちづくり施策と連携 ・H30.2実施 ・継続して実施 |
| H29.12 | 運行内容の改善 需要喚起策 | スパ-万代との協議 ・啓発事業への協力依頼 ・車内広告の案内 ・バス停移設への協力依頼 | 利用者の利便性向上のため、乗降場所を店舗側に移設（H30.2.1実施） 【バス停利用者数*1】 バス停移設前：2,998人 バス停移設後：3,660人 増減率：22.1%増加 |
| H29.12 | 需要喚起策 | 10枚綴り乗車券販売開始 | H30.11末時点 <u>320冊販売</u> 収入：320,000円 |
| H29.12 | 第1回 交通会議 | 実証運行の経過と結果、今後の方向、スケジュール | H30.2以降も実証運行の継続 |
| H30.2 | 需要喚起策 | サポーター制度導入 | H30.11末時点 <u>31件交付</u> 収入：155,000円 |
| H30.3 | 運行内容の改善 | バス停・停留所の看板更新 | <u>90箇所更新</u> 【利用者数*2】 看板更新前：19,931人 看板更新後：22,130人 増減率：11.0%増加 |
| H30.4 | 需要喚起策 | 桜まつりにおける臨時バス停の設置 | 利用ガイドブックの配布 【臨時バス停利用者数*2】 24人（H30.4.1） |
| H30.6 | 車内広告の掲載 | サマージャンボ宝くじの広告掲載 H30.7.1から1ヶ月間（11区画×1ヶ月） | 収入：22,000円 道の駅かなんの車内広告は継続して掲載中 |
| H30.7 | 利用者聞き取り調査 | やまなみタクシー利用者のニーズ調査 | 現在の運行内容の継続意向 |
| H30.9 | 運行内容の改善 | オークワ・バス停の移設 | 店舗玄関の近傍に移設 利用者から便利になったとの意見有り |
| H30.11 | 需要喚起策 | 道の駅かなんでバス停を利用してお買い物される方に50円券を車内配布 | 道の駅かなんより提供 H30.11.1より実施 |

*1：バス停変更前（平成29年2月～9月の合計） バス停変更後（平成30年2月～9月の合計）

*2：看板新設前（平成29年4月～9月の合計） 看板新設後（平成30年4月～9月の合計）

★：乗車券、サポーター券利用 2,933枚（平成29年12月～平成30年11月の合計）

★：金剛バスとの協議 これまで、運行における連携の協議や乗り継ぎ利用者への協力依頼など、運行内容の改善、需要喚起策について協議を重ねてきており、本年度も継続して協議をしてきましたが、現在協議が整ったものは無く引き続き協議を重ねていく。

○需要喚起策 ガイドブックの作成



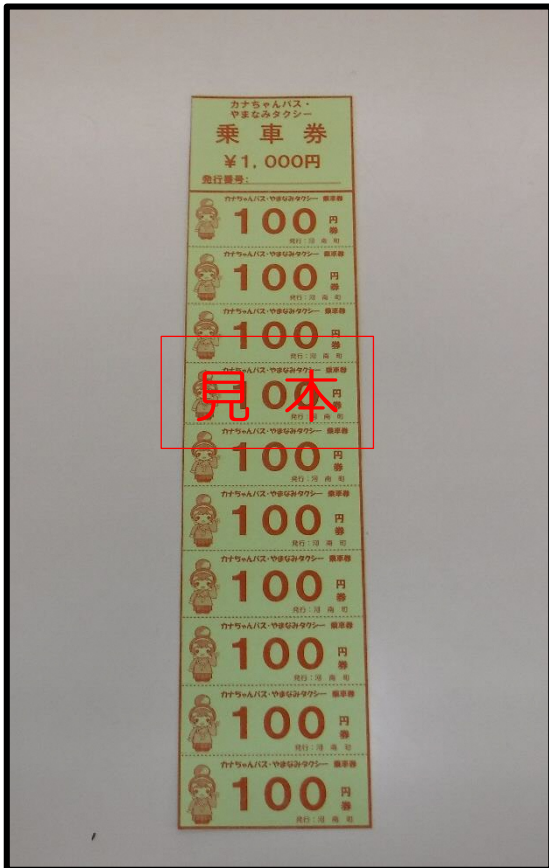
○需要喚起策 バス停・停留所の改善



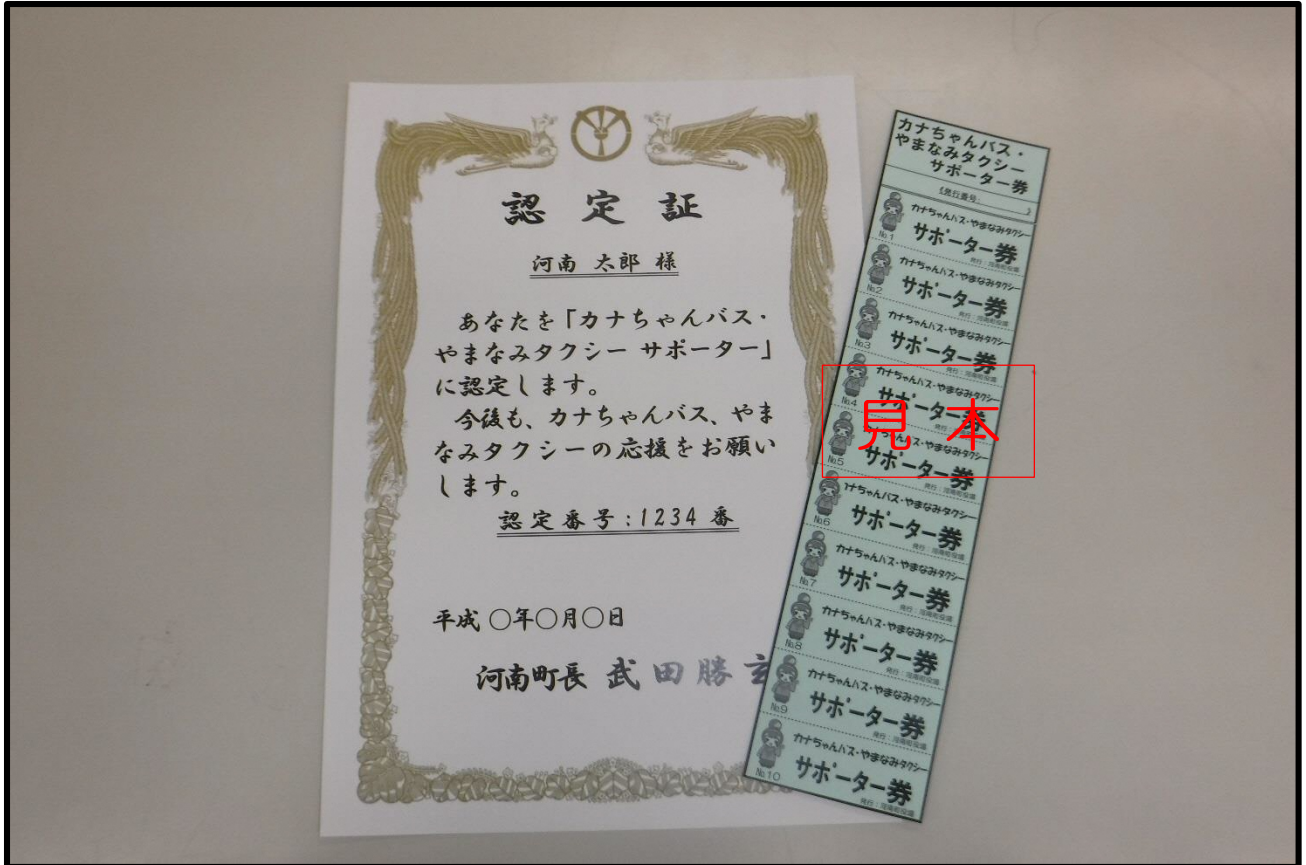
○需要喚起策 車内広告の掲載



○需要喚起策 10枚綴り乗車券の販売 ○需要喚起策 道の駅かなんお買い物の車内配布



○需要喚起策 サポーター制度導入



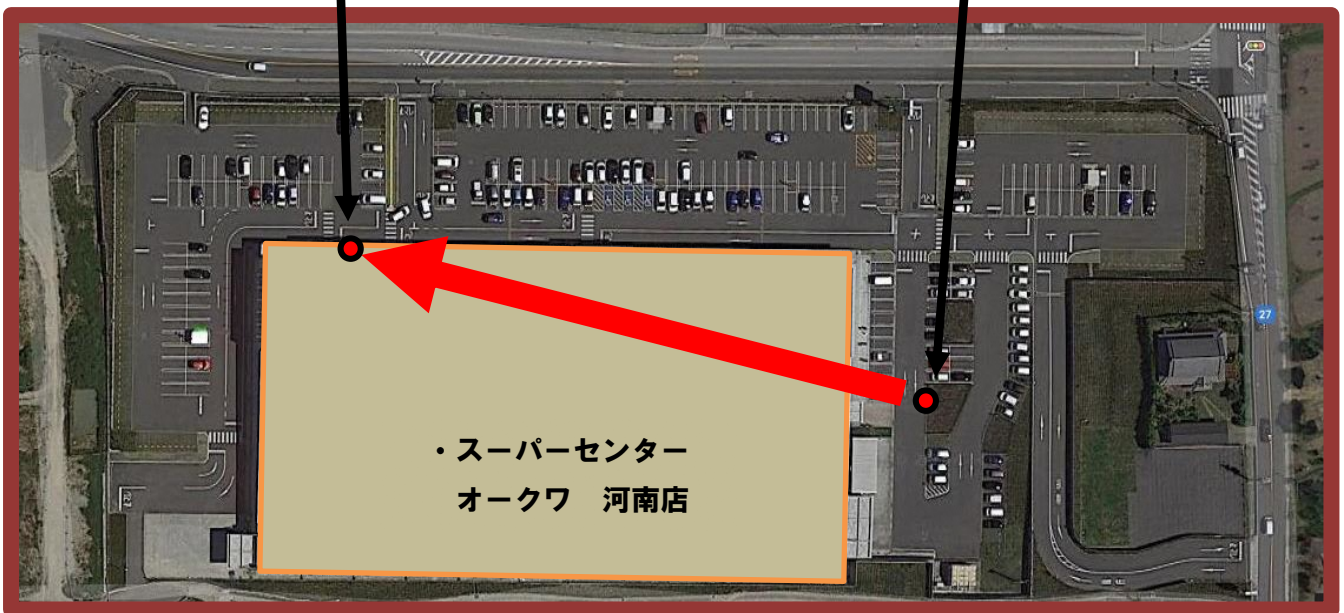
○運行内容の改善 万代、オークワのバス停移設
万代



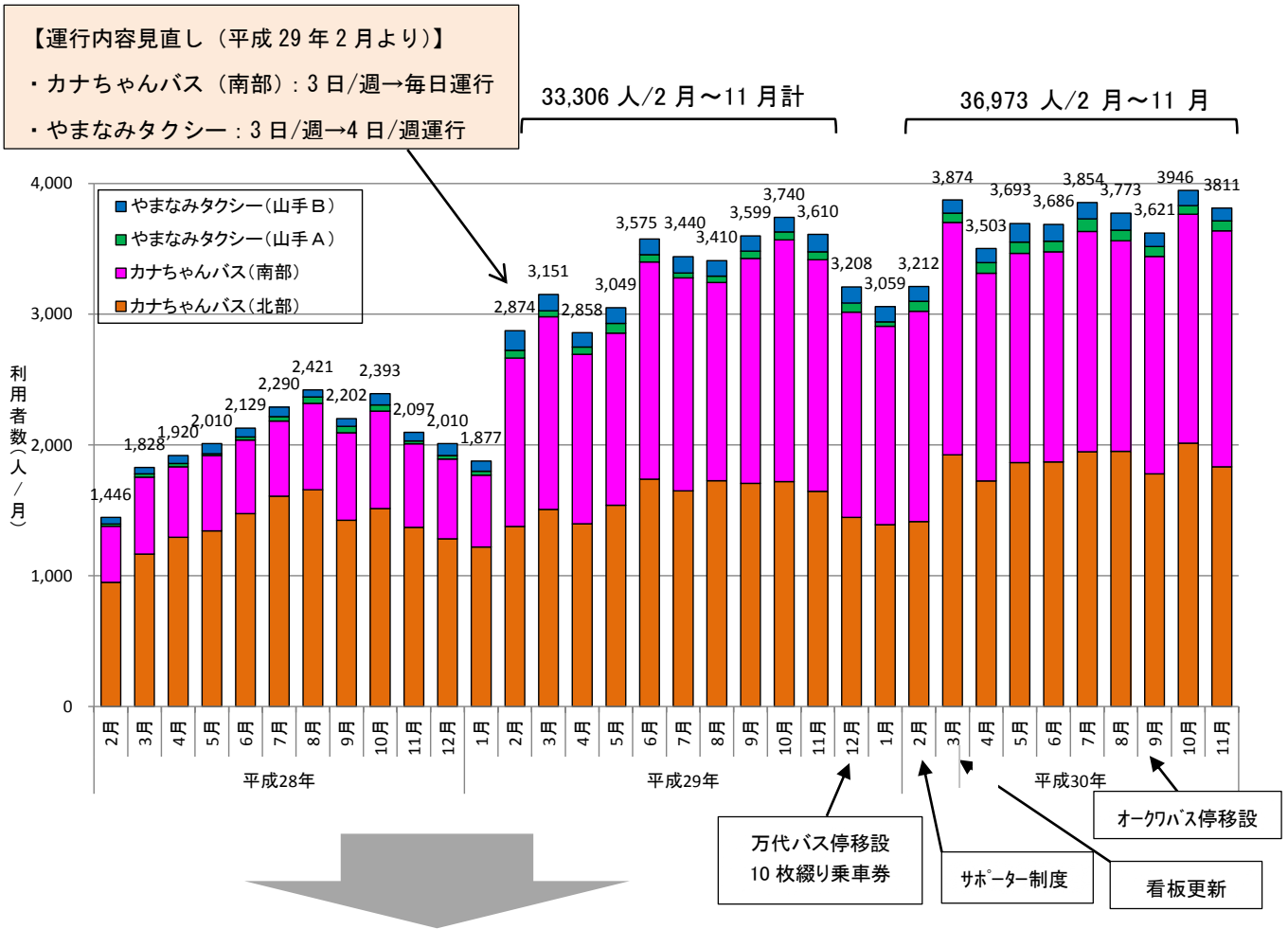
オークワ
移設後バス停



移設前バス停



3. 河南町地域公共交通の利用者数の推移



・カナちゃんバス、やまなみタクシーの運行により、北部と南部の移動や店舗への買物、通院など、河南町内全域の公共交通サービスの向上及び住民の生活の質の向上が達成されていると言える。

・利用者数は、対前年月と比べて増加傾向を示している（11.0%増加*）

* 33,306人/(平成29年2月～11月計) → 36,973人/(平成30年2月～11月計) = 11.0%増加

4. 運行ルートごとの年間利用状況等の推移

①カナちゃんバス+やまなみタクシー

| | 利用者数 | 運行経費 | 収入 | 収支差 | 収支率 |
|---------------------------|--------|------------|-----------|-------------|-------|
| 実証運行1年目 (H28.2～H29.1) | 26,087 | 30,317,519 | 2,486,900 | ▲27,830,619 | 8.2% |
| 実証運行2年目 (H29.2～H30.1) | 39,573 | 31,264,985 | 3,640,620 | ▲27,624,365 | 11.6% |
| 実証運行3年目 (H30.2～H30.11) | 36,973 | 26,360,934 | 3,357,400 | ▲23,003,534 | 12.7% |

*利用者数には、乗車券（サポーター券）の利用者を含む

②カナちゃんバス

| | 利用者数 | 運行経費 | 収入 | 収支差 | 収支率 |
|---------------------------|--------|------------|-----------|-------------|-------|
| 実証運行1年目 (H28.2~H29.1) | 24,913 | 26,130,359 | 2,278,800 | ▲23,851,559 | 8.7% |
| 実証運行2年目 (H29.2~H30.1) | 37,449 | 26,544,305 | 3,456,020 | ▲23,088,285 | 13.0% |
| 実証運行3年目 (H30.2~H30.11) | 35,020 | 22,400,034 | 3,191,900 | ▲19,208,134 | 14.2% |

*利用者数には、乗車券（サポーター券）の利用者を含む

③やまなみタクシー

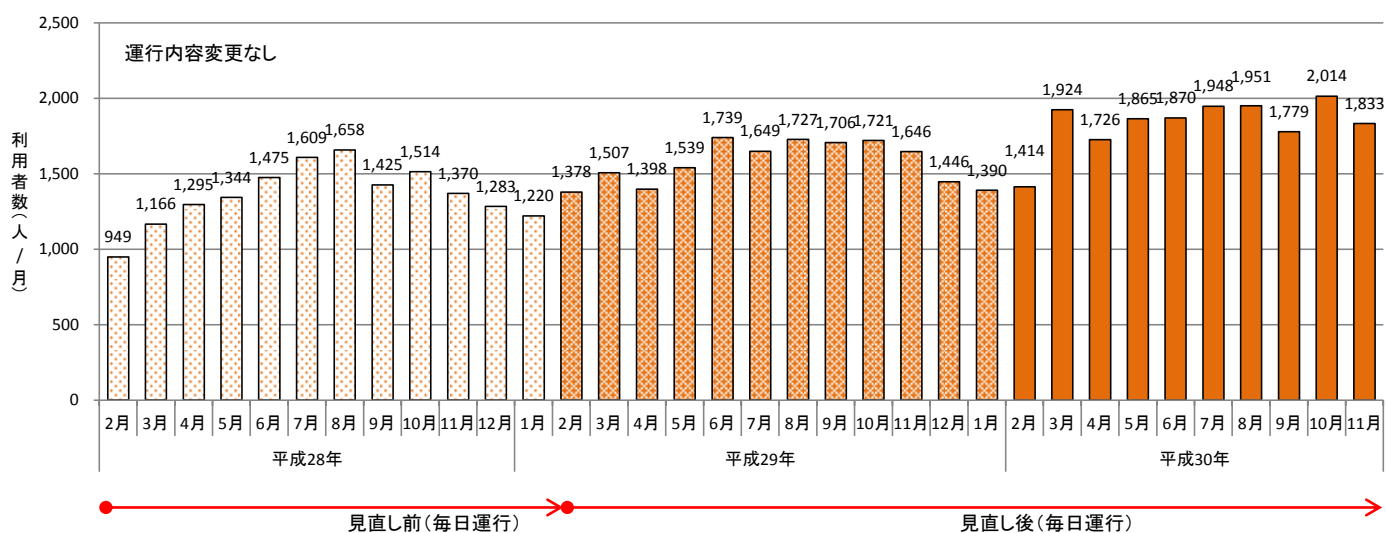
| | 利用者数 | 運行経費 | 収入 | 収支差 | 収支率 |
|---------------------------|-------|-----------|---------|------------|------|
| 実証運行1年目 (H28.2~H29.1) | 1,174 | 4,187,160 | 208,100 | ▲3,979,060 | 5.0% |
| 実証運行2年目 (H29.2~H30.1) | 2,124 | 4,720,680 | 184,600 | ▲4,536,080 | 3.9% |
| 実証運行3年目 (H30.2~H30.11) | 1,953 | 3,960,900 | 165,500 | ▲3,804,400 | 4.2% |

*実証運行1年目の運賃は200円/回、実証運行2年目以降は100円/回

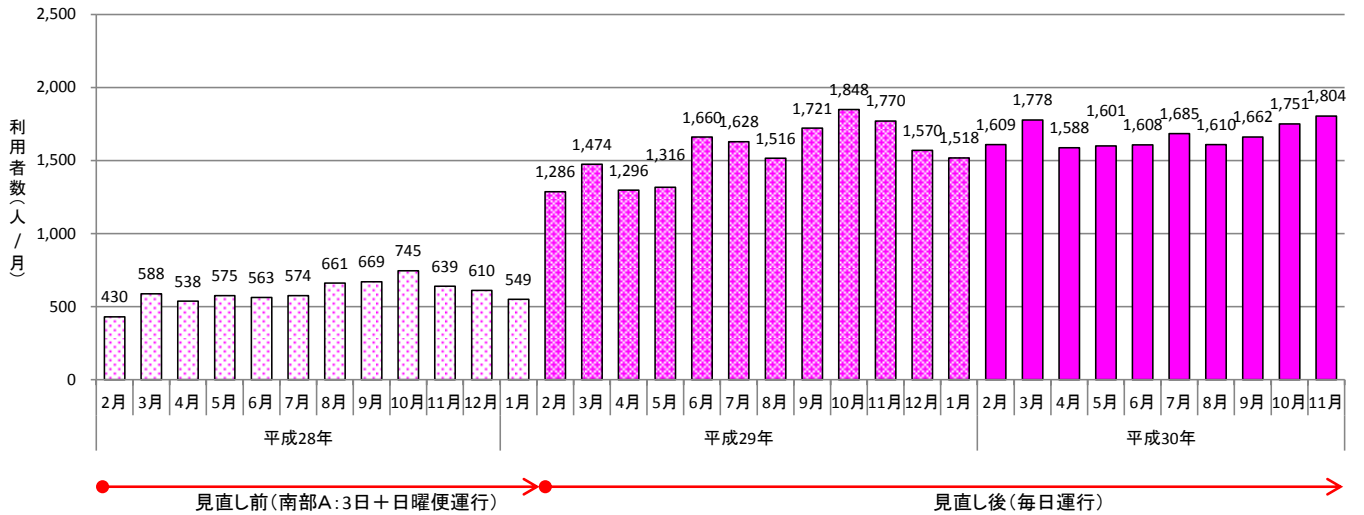
*利用者数には、乗車券（サポーター券）の利用者を含む

5. 運行ルートごとの年間利用状況等の推移

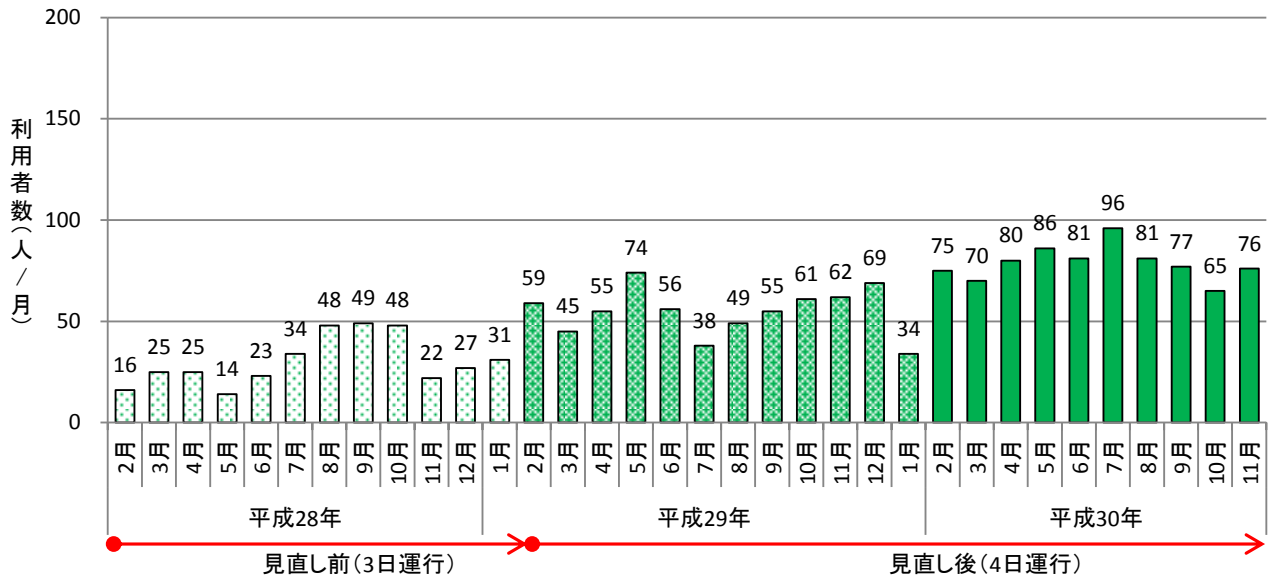
【カナちゃんバス（北部）】



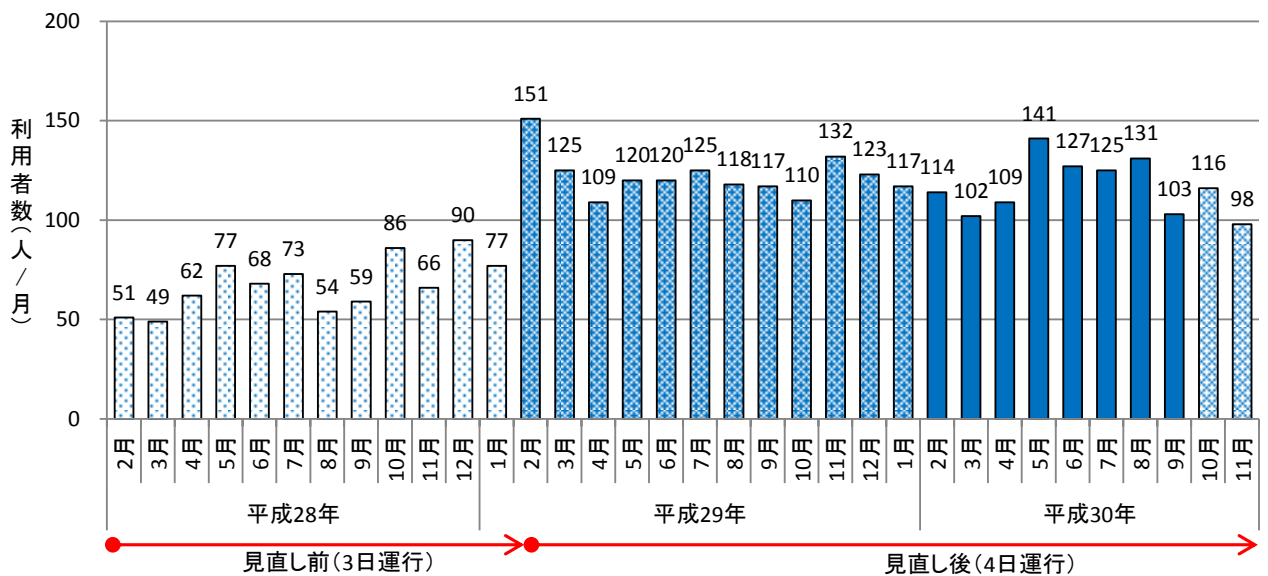
【カナちゃんバス（南部）】



【やまなみタクシー（山手A）】



【やまなみタクシー（山手B）】

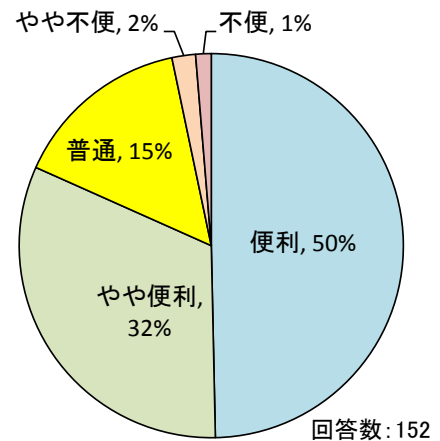


Ⅱ. 住民等の意向

1. 利用者からの意見・評価

(1) カナちゃんバス

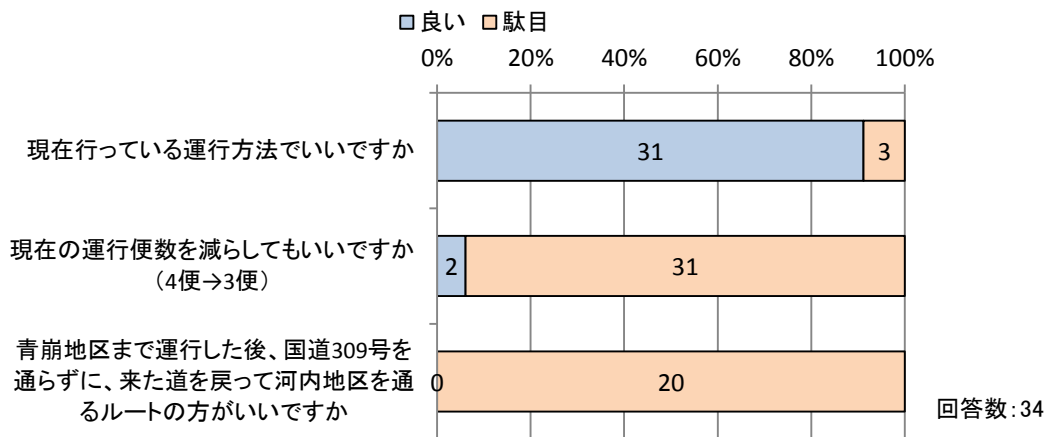
平成29年9月実施の住民アンケート調査結果から、カナちゃんバスの利用によって、「生活が便利（やや便利を含む）になった」と答えた利用者は82%で、これらの利用者は外出機会の増加や買物や公共施設利用の利便性が高まったことで、生活の質の向上につながったといえる。



(2) やまなみタクシー

【カナちゃんバスの利用による生活の利便性について】

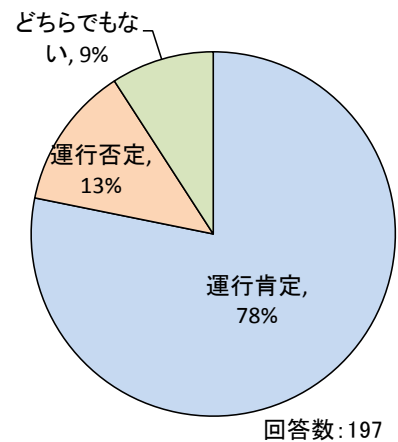
- 平成30年7月にやまなみタクシー利用者（34人）から聞き取り調査を実施。
- 利用者は、現在の運行内容の継続を希望している。



【やまなみタクシーの運行内容について】

2. 非利用者の意見・評価

住民アンケート調査結果から、地域公共交通を利用したことがない人でも、「運行に肯定的な意見」が78%を占めていた。具体的には、「今はマイカーを利用しているが、将来、免許返納した時に利用したい」という意見が多かった。



【地域公共交通を利用したことがない人の運行の是非】

3. 庁内各部局の意見・評価

町では、本町地域公共交通について、町長、副町長、教育長、部長級職員などで構成される庁議や課長級以上の連絡会で、各部局との協力体制などについて協議している。

- ・カナちゃんバス・やまなみタクシーは、町内移動での必要性が高く、住民の移動手段として確立しているため、やむを得ない財政支出である
- ・利用促進に対しては、イベント、会議があるときにはカナちゃんバス、やまなみタクシーを利用することなど、各部局が連携して協力する体制を確立している

- ・カナちゃんバス、やまなみタクシーは、日常の暮らしや地域のにぎわいを支える交通として機能しつつある。
- ・また、公共交通をより使いやすくするための取り組みを、庁内各部局の共同・連携により進めている。

Ⅲ. 金剛バスとの協議・調整

【金剛バスとカナちゃんバス・やまなみタクシーの乗り継ぎ向上策】

【乗り継ぎ地点1 ●】

- 東山バス停（金剛バス）
- 東山バス停（カナちゃんバス）

【乗り継ぎ地点2 ●】

- 寺田バス停（金剛バス）
- かなんぴあバス停（カナちゃんバス）

【乗り継ぎ地点3 ●】

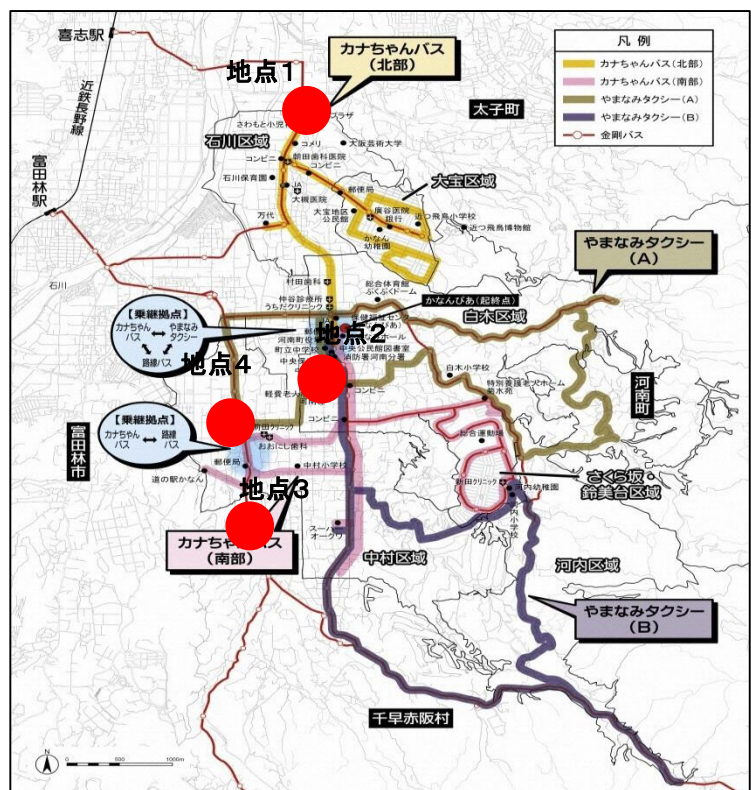
- 神山バス停（金剛バス）
- 神山バス停（カナちゃんバス）

【乗り継ぎ地点4 ●】

- 出屋敷バス停（金剛バス）
- 出屋敷停留所（やまなみタクシー）

【運行ダイヤ】

金剛バスとカナちゃんバスはほぼ待ち時間なく各バス停間で乗り継ぐことが可能（運行ダイヤ確認済み）



- ・金剛バスとカナちゃんバス・やまなみタクシーの現行の各バス停位置、各運行ダイヤで乗り継ぐことが可能である。
- ・乗り継ぎ利用を向上させるため、金剛バスとの乗り継ぎ拠点の改良や利用者増に向けての施策について継続して協議を行い、利用者にとって利便性の高いサービスを目指す。

IV. 住民が創る地域公共交通

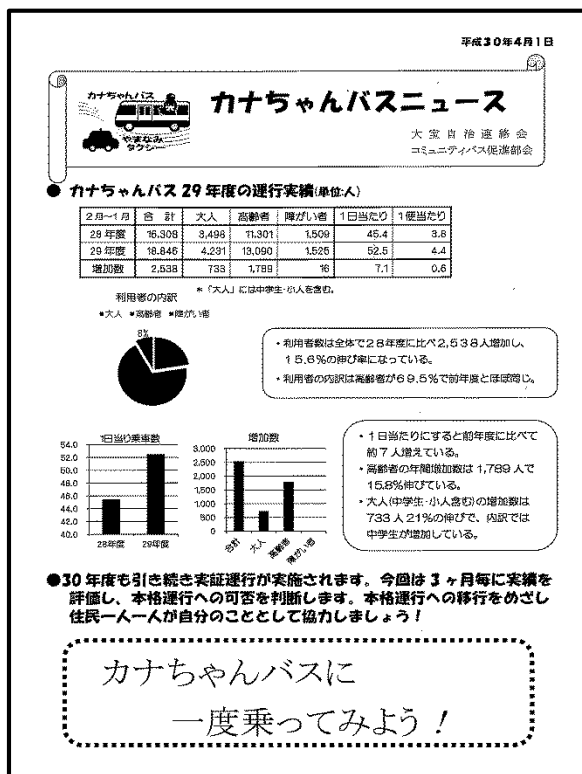
大宝自治連絡会、さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会では、機関紙へコミュニティバス利用の案内や、商店との提携、イベント等でのコミュニティバスの利用について掲載し、利用促進を図っている。

また、自治会などが主催するイベントなどでは、組織で乗車券などを購入し、積極的にコミュニティバスを利用している。

【実施した取り組み例】

- ・さくら坂4丁目自治会で、加入全世帯（114世帯）に対し、乗車券を1冊ずつ配布し、本町地域公共交通の利用促進を図っている。
- ・さくら坂・鈴美台地区の地域公共交通を創る会では毎月第三月曜日にコミュニティカフェ開催時に創る会で1万円分買って、必要な方に購入してもらっている。

また、福祉委員会と連携し、いきいきサロンへの行き帰りに、いままでボランティアの方がかなんぴあまで送迎していたが、乗車券を配布しカナちゃんバスを利用している。



平成30年度
(2018年)

第7回定期総会 議案書

さくら坂・鈴美台地区の
地域公共交通を創る会

日時 平成30年5月20日 (日)
10:00~11:30

会場 さくら坂地区集会所 集会室